

「読書の良さ」

- ◆ 心が豊かになります
- ◆ 言葉の力や想像力が育ちます
- ◆ 知識が豊かになります
- ◆ 集中力が向上します
- ◆ 人を思いやる気持ちが育ちます
- ◆ 社会のルールを守る意識が高くなります
- ◆ 大人には脳を元気にする効果もあります

(平成28年度文部科学省委託調査「子供の読書活動推進等に関する調査研究」報告書他参照)



家庭
読書

育て！心豊かでたくましい だいせんの子

うちどく

家読のすすめ



大山町立図書館マスコットキャラクター よしみちゃん

うちどく
家族で家読の
時間をつくり、
うちどく
家読の輪をどんどん
広げていきたいですね。



大山町では、子どもたちが手を伸ばせば本に手が届く環境づくりに取り組んでいます。家庭や保育所、学校に本を届けて、大人と子どもたちが楽しくふれあう子育てや、子どもたちの自主的な読書活動の推進を応援しています。

うちどく
「家読」は家庭読書の略語です。

読書は生きていくための支えや力となります。家族と家読の時間を共有することで、コミュニケーション能力も養われます。家読には、良いことがたくさんあります。

大山町子どもの読書活動推進委員会

家庭での読書(家読)の輪を広げましょう



家族そろって家読したり、同じ本を順に読んだりすることで、感じたことや考えたことなどについての会話ができます。家族のきずなを深めることにつながります。ゲームやインターネットなどのメディア機器はルールを決めて利用するとともに、テレビを消して、家読の輪を広げていきましょう。



でも、家読をするには、どうしたらいいの？



絵本や本の読み聞かせをしましょう



読み聞かせは、子どもの心と言葉を育てます。年齢に関係なく、子どもが「読んで」といったら、何度でも読んであげましょう。



みんなが見えるところに本をおきましょう

子どもたちが読みたいと思ったときに、すぐに取り出せることが大切です。幼いころに読み聞かせた本や子どもたちの関心のある本なども、身近においておきましょう。



大人が読書している姿を子どもに見せましょう

家庭の雰囲気は子どもの成長に大きな影響を与えます。テレビを消して、静かで落ち着いた環境を整え、大人が読書に集中している姿を見せましょう。



家族で図書館を利用しましょう

子ども時代に良書に出会うことがとても大切です。関心のある本をどんどん読ませてあげましょう。一緒に本を選んだり、静かな環境の中で読書したりすることもできます。

